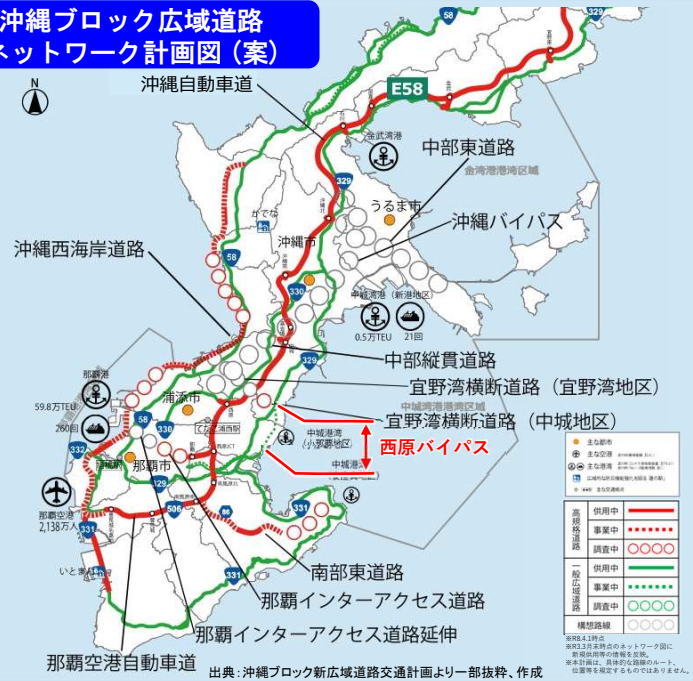


主な計画

沖縄ブロック広域道路ネットワーク計画図(案)



那覇都市圏交通円滑化(2環状7放射道路)

環状・放射道路を整備することにより、交通経路の分散を図り、那覇市内の混雑時旅行速度の全国ワースト1脱却を目指します。

2環状道路

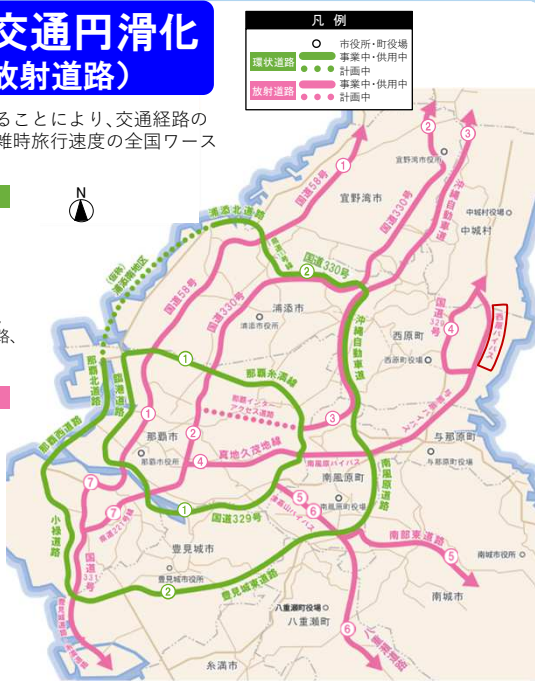
1 中央環状道路
国道329号、臨港道路、県道82号線(那覇糸満線)

2 外郭環状道路

国道330号、沖縄自動車道、那覇空港自動車道(南風原道路、豊見城東道路、小禄道路)、那覇西道路、那覇北道路、(仮称)浦添南地区、浦添北道路、県道153号線

7放射道路

- 1 国道58号
- 2 国道330号
- 3 那覇インターアクセス道路、沖縄自動車道
- 4 県道222号線(真地久茂地線)、南風原バイパス、与那原バイパス、西原バイパス、国道329号
- 5 国道507号(津嘉山バイパス)、南風原知念線(南部東道路)
- 6 国道507号(津嘉山バイパス)、八重瀬道路
- 7 県道221号線、国道331号、豊見城道路、糸満道路



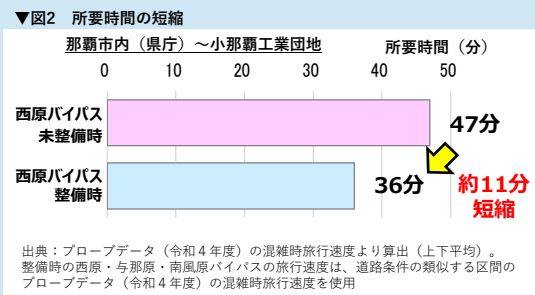
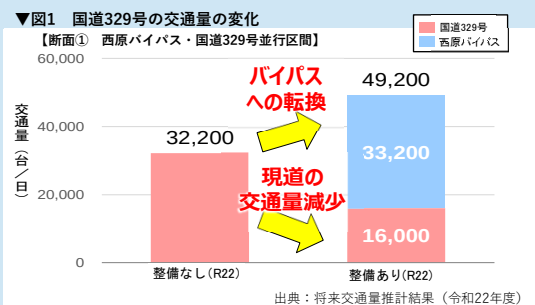
整備効果

①交通の円滑化、物流への影響 【写真1、図1・2】

国道329号の交通量が西原バイパスへ転換されるため、小那覇交差点や内間交差点等の渋滞が緩和されます。また、小那覇工業団地への物流速達性が向上し、地域産業を支援します。

②生活道路の安全性の向上 【写真2】

国道329号の渋滞を避けて、生活道路に入り込んでいた車両がバイパスに転換し、安全性の向上が期待されます。



③災害時に強い道路ネットワークの確保 【図3、写真3】

冠水箇所を回避することにより、第二次救急医療施設への速達性・アクセス性が向上されます。



④産業振興の支援、周遊観光の支援

中城湾港港湾計画、中城湾港マリンタウンプロジェクト、大型MICE施設の計画など東海岸地域の産業振興の支援に寄与します。【図4】



にしはら

西原バイパス



